



第2学期を終えるにあたって

熱中症厳重警戒レベルで始まった2学期でしたが、すっかり紅葉をし、雪の時期となりました。2学期には、毎年、年間を通じて最も多くの取組・行事がありますが、その1つ1つに、子どもたちは「めあて」をもって頑張り、成長する姿が多く見られました。大変実り多い学期になったと感じています。保護者・地域の皆様には、今学期も多大なるご理解とご協力を賜り、そのおかげで豊かな教育活動を展開することができましたこと、心より感謝を申し上げます。

特に多かったのは体育的行事です。6年生は、今回から、峰山にある「はごろも陸上競技場」での陸上記録会となり、遠路参加をし、練習の成果を発揮すると共に他校の同級生たちと仲を深めました。4・5・6年生は駅伝大会に参加しました。練習から本番まで大変よく頑張りました。校内マラソン大会は、新コースでの実施でした。試走よりもタイムが縮まるようにと目標を持って練習し、力一杯自分の力を発揮しようとする子どもたちの姿が素晴らしいかったです。

また、文化的行事・取組も多くありました。まず、絵画制作では丁寧に描いた下絵を元に、細かなところまで彩色して仕上げました。作文の取組では、地域の素晴らしさを訴える内容の作文や読書感想文がありましたが、一人一人の素直な思いを乗せ、どの子も大変素晴らしい作品に仕上げていました。稲刈りなど、地域の方にご協力いただく本庄筒川ならではの取組もありました。皆様のご協力のおかげで貴重な学びができ感謝しております。また、学習発表会では、観客を意識して発表を工夫し、笑いを盛り込むなど思いのこもった発表を観客の皆様に分かりやすくお届けできたのではないかと考えております。内容をしっかりと届けようと何度も何度も練習を重ね、本番ではその成果をよく発揮できました。当団には多くの方にご来場いただき、温かな拍手や感想をありがとうございました。また、筒川地区文化祭で合唱を発表させていただいた際には、「もっと聞かせてほしい」などのうれしいお声をいただき、大変ありがとうございました。



稲刈り



校内マラソンスタート

そして、もちろん行事以外の日々の学習では、漢字や計算等、基礎的・基本的な学習内容を熱心に練習するとともに、タブレットを活用し互いに思いや考えを伝え合う学びで、思考を深めています。対話力を育てるスピーチ活動では、堂々とした発表の姿が見られ、成長が感じられました。

さて、明日から冬休みです。これまで同様、規則正しく毎日を過ごし、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の予防に努めていただき、また、家庭学習では、与えられた課題だけでなく、読書や自主的な学習にも積極的に取り組んでほしいと思います。さらに、年末年始の行事等では、家族の一員としての自覚をもって行動し、挨拶やマナーを身に付ける貴重な機会にもしてほしいです。

年の瀬を迎え、寒さも一段と厳しくなりますが、健康にご留意いただき、ご家族お揃いでよいお年をお迎えください。

校長 田中 晴彦

「日本で最も美しい村」
作文・絵画コンクール
表彰式及び発表会

12月1日（月）にほっと館におきまして、第15回「日本で最も美しい村」作文・絵画コンクール表彰式及び発表会が開催されました。（受賞者以外はオンラインにて視聴しました）

本校から2名の児童が受賞しました。受賞した児童は発表に向けて緊張した様子でしたが、学校でも家庭でも原稿を繰り返し読む練習を重ね、自信をつけて発表会に臨みました。校内でのリハーサルもしっかりと行い、いざ本番。ほどよい緊張感の中、練習の成果を存分に発揮し、見事な発表ができました。こうした貴重な体験ができたことに自信と誇りを持ち、今後に生かしてほしいと思います。

○作文部門：町長賞
○絵画部門：教育長賞

人権学習授業参観
人権講話

人権について学び、考え、行動につなげる

12月7日（日）に、人権学習の授業参観および人権講話を実施しました。授業参観では、各学級の発達段階に応じて「自分らしさ」「あってよい違い」「思い込みや先入観が差別につながること」などをテーマに、児童が自分の考えを出し合いながら真剣に学ぶ姿をご覧いただけたことと思います。

また、後半の人権講話では、京都府視覚障害者協会副会長の井上恵美様をお招きし、「見えない人と盲導犬」をテーマにお話を伺いました。盲導犬カレンとの生活や白い杖の役割、点字や牛乳パックのくぼみなど身近なユニバーサルデザインについて学び、目の不自由な方への配慮や思いやりの大切さを考える機会となりました。児童からは「困っている人がいたら声をかけたい」「次は自分も行動したい」といった感想が聞かれ、人権を自分事として捉える学びにつながりました。ご参観いただきありがとうございました。



全校スピーチ

筒川地区文化祭での合唱発表と影絵鑑賞

12月7日（日）に行われた筒川地区文化祭に参加し、学習発表会でも披露した合唱「小さな勇気」を地域の皆様の前で発表しました。会場には多くの方々が来場され、子どもたちの一生懸命な歌声に、温かな拍手と喜びの声をたくさんいただきました。子どもたちも、自分たちの歌声を届けることができ、嬉しそうにしていました。

発表の後には、影絵サークル「ぶちとまと」さんによる影絵劇「伊根の鯨漁」のお話を鑑賞しました。生演奏と生コーラスにあわせて動く影絵の世界に、子どもたちは目を輝かせて見入っており、たいへん貴重な機会となりました。準備・運営してくださった皆様、ありがとうございました。



校内漢字検定に取り組んでいます

本校では毎学期、校内漢字検定に取り組んでいます。どの学年も「とめ・はね・はらい」などに気をつけて、丁寧に字を書くことを意識しながら、合格に向けてこつこつと練習を重ねてきました。本番では、鉛筆の音だけが聞こえるほどの静けさの中、集中して真剣に取り組む姿が見られました。漢字を正しく覚え、美しく整った字を書くことは、日々の学習の基本です。これからも、努力を積み重ねることで、確かな力を育んでいきます。



知的好奇心をくすぐる体験事業（1・2年）～赤ちゃんのふしぎなを感じて～

京都大学大学院より常田裕子先生をお招きし、「赤ちゃんのふしぎなを感じてみよう」をテーマに学習を行いました。赤ちゃん人形を抱っこする体験では、「重い」「首がぐらぐらする」といった声が上がり、命の重さや大切さを実感する姿が見られました。動画やお話をからは、赤ちゃんが回りながら生まれてくること、命がけて産まれてきたことを学びました。また、授乳やお風呂、トイレなどの赤ちゃんのお世話を、自分と比べながら考える中で、たくさん準備や配慮が必要であることを知りました。子どもたちは、「自分も大切に育てられてきた」「家族に感謝したい」と、命や家族のありがたさを改めて感じていました。温かい雰囲気の中で、自分を大切にしようという気持ちが高まる、心に残る学習となりました。



1・2年生が長寿苑を訪問し交流しました

12月16日（火）、1・2年生が長寿苑を訪問し、お年寄りの方々と交流しました。生活科の授業で「どんな交流会にしたいか」を話し合い、図工科で感謝の気持ちを込めたプレゼントを作り、音楽科では「校歌」と「小さな勇気」を心を込めて歌えるよう練習してきました。当日は、子どもたちの歌声に「素敵なお歌だったよ」とたくさんの笑顔と拍手をいただきました。子どもたちも、優しく声をかけてくださる方々の温かさに触れ、とても嬉しそうな様子でした。この交流を通して、人と人が思いやりをもって関わることの大切さを学びました。これからも、誰にでも温かく接し、みんなで助け合う心を育てていきたいと考えています。



◇冬期休業中及び1月の主な行事予定◇

【12月】	14日（水）朝会 付添下校（更生保護女性会）
25日（木）冬季休業開始	
26日（金）仕事納め	
29日（月）～1/3（土）	学校業務休止日として学校閉庁
【1月】	
1日（水）元日～3日（土）	学校業務休止日として学校閉庁
5日（月）仕事始め	
8日（木）3学期始業式 地区児童会 大掃除 11:50 下校	
9日（金）給食開始 下校 14:40	
12日（月）成人の日	
13日（火）委員会⑥	
☆AET：13日 20日 27日	☆S C： 14日 29日
☆ICT：16日 26日	☆SSW：15日

令和7年度京都府「海の子」作品展 絵画部門

◆京都府水産振興事業団理事長賞

◆佳作

